

日時
2014年
12月13日(土)
13:30-14:30

会場
京都大学花山天文台
本館図書室

講師
京都大学宇宙総合学
研究ユニット特定准教授
磯部洋明

アバンギャルド茶人
近藤俊太郎

日本画家
岡村智晴

定員
15名程度

参加費
1000円(茶菓子代)

宇宙茶会

創生 @Tomoharu Okamura

宇宙茶会について

「宇宙茶会」は、なんでも宇宙とつなげる宇宙研究者の磯部洋明と なんでもお茶会にしてしまうアバンギャルド茶人・近藤俊太郎さんが 出会って始まりました。2011年に京都・東山の京都大学花山天文台で初の開催して以来、太陽系や宇宙を茶道具によって表現した「宇宙十職」の制作など、様々な方面へ広がっていきました。今回は日本画の技法で宇宙を描く若手画家の岡村智晴さんをお迎えします。宇宙茶会に先立つワークショップでは、まずは最新の宇宙科学が明らかにした太陽の素顔を磯部が解説し、それを元に、岡村さんが「太陽」を主題にした作品を制作するためのブレインストーミングを、参加者の方も交えながら行います。その後、近藤さんが全国の作家さんに呼びかけて制作した宇宙の茶道具たち「宇宙十職」を使ったお茶会を天文台内で開きます。宇宙が好きな方、お茶が好きな方、そしてアートが好きな方のご参加をお待ちしています。特に、専門の科学者と協力して宇宙をテーマに作品制作することに関心のある方のご参加歓迎です。

プログラム

12:45 受付開始
13:00 太陽観望(晴天時)
13:45 太陽に関する講演(担当:磯部)
14:30 鼎談,ブレインストーミング
15:30 茶会
17:00 順次終了

参加申し込み

参加を希望される方は世話人(tamazawa@kwasan.kyoto-u.ac.jp)までメールでご連絡下さい。定員に達した場合締め切らせて頂きます。
余裕がある場合は当日も受け付けます。
公共交通機関がありませんので、タクシーか自家用車でお越し頂くことになります。
駐車場のスペースに限りがありますのでご了承ください。

